

通知表「あゆみ」の配付について ～一人ひとりの成長をねがって～



本校では、すべての教育活動を通して子どもたち一人ひとりの成長を願って指導にあたっています。「あゆみ」は、お子さんの学校における学習や生活のようすをお知らせし、学校と家庭が力を合わせてお子さんの成長に役立てていくことがねらいです。

まずは、お子さんの良さががんばったところを大いにほめてあげてください。そして、これからどのような点に力を入れていきたいか、どのように過ごしていきたいか、お子さんと一緒に話し合ってもらえればと思います。

お子さんの自ら学ぼうとするさらなる意欲に繋がることを願っています。

1 評価について

- ◆日々の授業や活動の中で、子どもたちへの指導と評価を続けています。通知表は年に3回、学期末にお渡しします。(3学期の通知表は1、2、3学期の年間総合評価となります。)
- ◆学習評価の観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点としています。ただし、国語科については、6観点としています。

《学習のようすの評価》

- ◆観点別の目標に準拠し、それぞれの到達度に応じて、
◎『よくできる』 ○『できる』 △『もうすこし』で評価をしています。
- ◆1年生の1学期は小学校での学習の入門期のため、『できる』『もうすこし』の2段階で評価をしています。
- ◆「道徳」「3・4年外国語活動」「総合的な学習の時間」についての評価は、文章での評価となります。子どもたちの成長を長い期間で見取った評価とするため、学年末のみの評価となります。

《行動のようすの評価》

- ◆お子さんの学校での生活の様子や行動について評価したものです。他の子どもとの比較ではなく、お子さんの学校生活での状況を評価しています。
◎『よくできる』 ○『できる』 △『もうすこし』で評価をしています。
- ◆1年生の1学期は小学校での学習の入門期のため、『できる』『もうすこし』の2段階で評価をしています。



2 評価の方法について

- ◆教科の単元によって、評価方法を選択して、総合的に子どもたちの力を評価するようにしています。
- ◆評価はテストだけでなく、授業中の発表・発言、グループでの話し合い、実技、作品の制作といった多面的な見方で、総合的に判断して行っています。
(単元テストが満点であっても、「できる」や「もうすこし」の評価になる場合があります。)
- ◆主体的に学習に取り組む態度については、課題や問題に向かって粘り強く取り組む姿、振り返りを積極的に行い、これからの学習に活かすなどの姿勢を、各教科の特質に応じて多様な方法で評価を行います。

本校では、基礎学力とならんで、人としての成長を大切にしています。毎時間の学習、教育活動すべてが子どもたちの力を伸ばす大切な時間だと考え、指導にあたっています。学校と保護者の皆さまとが課題を共有し、それぞれの立場から子ども一人ひとりへのきめ細かい指導を進め、たくましくすこやかな子どもを育てていきたいと考えています。